

## 会 議 概 要 書

審議会等の名称	平成 29 年度 第 3 回 磐田市環境市民会議
担当部課名	環境水道部 環境課
会議の開催日時	平成 29 年 8 月 24 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分
会議の開催場所	市役所西庁舎 3 階 304 会議室
出席者(職・氏名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員 15 名 (出席者 15 名 : 敬称略)</li> <li>佐藤 和美、杉浦 聖、川島あつ江、諸井 康代、 安間真由美、安藤 浩子、鈴木 昇、松尾 陽子、 村田 慎哉、今泉 佳代、鳥山 博好、出羽 正二、 今村 信大、豊田 榮、清 真人</li> <li>・ (事務局 4 名) 環境水道部長、環境課長、環境保全グループ長、 環境保全グループ 副主任</li> </ul>
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 次磐田市環境基本計画策定方針について</li> <li>・ 第 2 次磐田市環境基本計画素案(抜粋)について</li> </ul>
配付資料等の件名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)平成 29 年度 第 3 回磐田市環境市民会議次第</li> <li>(2)磐田市環境市民会議委員名簿</li> <li>(3)資料 1 第 2 次磐田市環境基本計画策定方針</li> <li>(4)資料 2 第 2 次磐田市環境基本計画素案(抜粋)</li> </ul>

<p>概要</p>	<p>※会議の発言内容、審議経過等を記載</p> <p>会議（司会：環境課長）</p> <p>(1) 開会（環境課長）</p> <p>(2) 委嘱状交付</p> <p>(3) 環境水道部長あいさつ</p> <p>(4) 会長あいさつ</p> <p>(5) 議事（議長：佐藤会長）</p> <p>〈1〉第2次磐田市環境基本計画策定方針について</p> <p>〈2〉第2次磐田市環境基本計画素案（抜粋）について</p> <p>【説明概要】事務局（環境保全グループ 副主任）</p> <p>・第2次磐田市環境基本計画策定方針、第2次磐田市環境基本計画素案（抜粋）について、資料1及び資料2を用いて説明した。</p>
<p>会長</p>	<p>【質疑応答・意見交換】</p> <p>学校等のグラウンドの芝生化に関する項目について、現在の計画でも達成率が低かったと思われます。芝生化しない、できない理由が何かあるのではないのでしょうか。限られたグラウンドの中でそれぞれの用途もあると思います。芝生化できない理由とその意義について確認する必要があると思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>芝生化が進まない理由としては、やはり維持管理の面の負担が大きいです。ただ、幼稚園、保育園、こども園については広報いわたでも取り上げさせていただいておりますが、現在園庭の芝生化が進んでいます。</p> <p>作業部会には教育部の職員もおりますので、芝生化については改めて確認をしていきます。</p>
<p>委員</p>	<p>計画に掲載している施策を実行していくにあたり、人員や予算など確保されているのでしょうか。</p>

事務局	<p>環境基本計画に掲げられる施策については、作業部会や策定委員会で確認をしています。予算の裏付けまでは確認していませんが、作業部会でも策定委員会でも本計画が実行性のあるものにしなければならぬ、というイメージで計画を作成しています。ここに挙げられている施策については何らかの取り組みをしていくという考えでおります。</p>
委員	<p>第2次環境基本計画素案の中では、今まで市で実施していたことを計画に盛り込むようになったと理解しています。どちらかというところから新しい施策を実施するのではなく、今まで実施していたことを計画に取り入れ、総合的に施策を進めていくという風に捉えています。</p>
事務局	<p>そのとおりです。また、一方ではアグリビジネスやトリジェネといった新しい施策についても計画に位置づけていきたいと思っています。</p>
委員	<p>小学生が取り組むアースキッズ事業を拝見させていただきましたが、子ども達がとても楽しそうに取り組んでいました。子ども達への教育もすごく大切ですが、私たち自身が環境のことを子どもの頃に学んできていないので、まずは大人が意識を高く持たないといけないと感じました。</p> <p>磐田には素晴らしい自然がたくさんあります。自分の子どもの頃はきれいな川があり色々な生きものがいて、本当にきれいなので自然を汚してはいけないとかそういったことを感じて育ってきたと思います。地球環境が厳しくなってくる中で、子どもたちに将来過ごしやすい未来を残していくために、環境問題や温暖化対策などに私たち大人が意識を持ち、見本にならなければならないと感じました。</p>
会長	<p>そういった意味で、本計画において市民が参加する、協働で取り組むといったことがたくさん含まれています。こういったものを広めて</p>

	<p>いかなければなりませんね。</p> <p>委員 体系図の中で、重点的施策の1番目にある「住みよさを実感できる生活環境をつくります」とありますが、これは環境基本計画だけではなく磐田市そのものが取り組まなければならない市の施策であるべきもので、もう一段上にあっても良いと感じました。環境基本計画としては、重点的施策2（自然環境の保全）、3（快適な環境の創造）、6（環境教育）番目がこれから力を入れなければいけない課題だと思いますので、計画を見ていただく方がどのように捉えるかで違いますが、重点的施策の中で順番を上にもってきても良いと感じました。</p> <p>また、学校の芝生化についてですが、維持管理を学校単位ではなく全学校として考えていかなければならないと思う。芝生化を実施し校庭の真ん中に寝転べる場所ができるだけでなく、その周囲で例えば花壇のような人が作った造形物ではなくて、色々な草を生やすような空間・場所を作っていくことも同時に必要でないかと思います。草の中には小さな生きものがたくさんいます。子ども達が学校生活の中で、校庭の中に自然体験ができる、自然を感じられる空間を併せて作っていくべきだと思います。</p> <p>子ども達だけではなく、大人に対しても環境教育ということはとても大切なことだと思いますので、学校を通じて保護者や地域の方々に環境を勉強できるような環境づくりが大切だと感じています。</p>
<p>会長</p>	<p>芝生化については学校での用途も含め、調和のとれた、バランスのとれた運営の仕方が求められることと思います。自然とともに暮らすまちを作っていくことが大切だと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私が暮らす地域では自然が大変豊かで、近くの小学校から先生が子ども達を里山に連れてきます。そこには蝶々や虫、生きものがたくさんいて、自然があふれています。自然を作っていくことも大切ですが、そのような場所があるところは、その場所を活かしながら大事にして欲しいと思います。</p>

<p>会 長</p>	<p>磐田市にはそのような良い所があるということですね。重点的施策3で記載している点は、まさにそのような恵まれた場所を活かした活動の場の創出・活用ですね。</p>
<p>委 員</p>	<p>環境教育の面ですが、アースキッズに今年度お手伝いをさせていただきました。アースキッズは子どもたちが体験することで自分の意識が変わることに加えて、その家族が同じように環境に対して意識を持っていけることがこの事業の良い所です。今回参加して感じたことは、子どもたちは遊びの中で体感し、意識が強くなっていきます。数値の調査などありますが、たった一、二週間でも、節電や節水などの意識を保つことがいかに難しいことであるかを子ども達や家族が感じられることが成果だと感じました。</p> <p>また、以前は身近に自然があることで、生活の中で自然の遊びを体験したり体感したりすることができました。自然や生きものが減っていくとそのような場所がなくなってしまいます。自然を作っていくというよりは教育の現場を作りながら自然を体験できることが一番良いのかなと思っています。</p> <p>市では、フェイスブックやインスタグラムなどのSNSを通じて、企業の美化活動や環境保全団体の自然教室などの環境に関する活動を広報していて、よく閲覧させていただいています。そういった活動の中で、桶ヶ谷沼において自分で沼を作るという活動がありました。そのような活動を学校などで行えれば良いと思いました。自然のサイクルを学ぶことはとても大切なことだと思います。子ども達がどうやったら自然を実感していくか、そのために学校、幼保こども園施設での協力が必要だと思います。一人では感じ取れない部分も友達と一緒に楽しく学ぶことができます。教育の中に自然に取り組んでいける活動を、出向くことも大切ですがそのきっかけづくりを市で実施して欲しいと感じています。</p>
<p>会 長</p>	<p>子どもの頃の体験や風景はすごく大切で、大人になってからの色々な発想は子どもの時の体験が基になっていることと思います。体験さ</p>

	<p>せること、生活の中にあることができるようにしていくべきですね。</p>
委員	<p>環境は生活そのものがテーマで、この環境基本計画は地球環境から生活環境まで広範囲に渡っています。策定する市の組織も広範囲に渡っていますので、それだけに計画が総花的になりやすいと思います。分かりにくい専門用語を並べるのではなく、計画の視点にあるとおりシンプルでわかりやすいものとするのが大切だと思います。ただ言葉を羅列するのではなく、実効性のあるものとするのが必要だと思います。今後指標の設定にあたっては、あまり背伸びしたものではなく、かつ安易に到達できるものではないようにしていただきたいです。皆さんから意見がたくさん出ましたが、原点は子どもへの教育だと思います。そこに力点を置いて策定して欲しいと思います。</p>
委員	<p>木材の地産地消についてですが、間伐材の再利用等を進めて欲しいと思っていますがいかがですか。</p>
事務局	<p>間伐材の利用ですが、色んな利用の方法があると思います。県でも間伐材の有効活用としてはバイオマス発電につなぐという計画があります。また、少しですが間伐材を使って子ども達のちょっとしたおもちゃをつくり活用する事例もあります。今後財産区の方々にもご意見を伺ってみたいと思います。</p>
委員	<p>6 ページに「事業所の敷地内にビオトープを造成し、・・・」とありますがこれは具体的に実施しているところがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>市内にも工場敷地内にビオトープを作っている企業があります。</p>
委員	<p>ビオトープについてはすごく興味深く思っていて、子ども達にぜひ見せたいと思います。協力してそういった場所を作っていくことも大切だと思います。</p>

<p>委 員</p>	<p>磐田市では向笠小学校において、ビオトープに取り組んでいて、近隣の住民の方々も一緒になって一生懸命行っていました。他の学校でも取り組んでいましたが、担当の先生が変わると取り組めなくなってしまうことがあります。「おけがや自然塾」では人工的なビオトープを作っています。子ども達に与えるのではなく自分で作っていく機会を作っていくことが重要だと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>企業の中には、ビオトープではありませんが、敷地内にある樹木などの環境を活用することで、地域の小学校や幼稚園などへ環境学習の機会を提供してくださっている事業所もあります。新たにビオトープを作る、ということは大変かもしれませんが、今ある環境資源を例えば子ども達のために、活用する機会を増やしていくことも重要だと思っています。</p>
<p>委 員</p>	<p>二酸化炭素の削減や環境保全対策については、企業にとってもこれから求められることであると思います。企業の環境への取り組みについて良い取り組みであれば表彰するなどしていくべきだと思いますがいかがですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>本市では、70 を越える製造業を中心とした事業所の皆様に環境保全推進協議会を組織していただいています。そこで社会貢献の活動をしていただいています。この他にも、まち美化制度では河川美化などの活動をしていただいています。既存の表彰制度もありますので、地域に貢献いただいている企業については、しっかりと把握していきたいと思っています。</p>
<p>委 員</p>	<p>1 ページの体系図についてですが、以前の計画と比べて一番上に「住みよさを実感できる生活環境をつくります」を記載し、生活に直結する一番身近な施策を記載したことと思いますが、「健康の保護及び生活環境の保全」という言葉ですが、内容を見ると「生活環境の保全」が主でありその方が分かりやすいのではと感じました。また、重点的</p>

	<p>施策4についても「環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の実現」とありますが、計画そのもののような大きな概念ですので、前計画でも記載していた「循環型社会」としても良いのではと思いました。条例に記載のあるとおりと統一しているのであればそれで良いと思いますが、何か他に記載にあたって定義があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>1ページの重点的施策については、現在は条例に記載のとおり順番と言葉となっております。順番も言葉も分かりやすいものを記載していきたいと考えていますので、いただいた意見も踏まえて検討してまいります。また、他にも重点的施策の記載について分かりにくい点や強調したい点などのご意見等ございましたらお願いします。</p>
委員	<p>環境について大人が意識することが大切ですが、関心のある人とそうでない人との差が大きいことから、学校教育から入り、子ども達が親に伝えて意識を持たせていくことが大切だと思っています。そのためには教育委員会や学校との連携が大事だと思います。学校や地域単位で、地域の自然や歴史などの特色を伝えていって欲しいなと思います。自分が経験したことでは、お寺で命のつながりについて学ぶ機会がありました。家から離れて環境が変わり、自分の命を見つめたりする経験はとても貴重なものでした。地域ごとにそのような協力を得て、様々な体験ができるような機会を子ども達に対してできれば良いと思います。</p>
会長	<p>それは磐田市の特色になりそうですね。市のビジョンから、環境教育というものをどのように作っていくかということになることになるとはと思いますがいかがですか。</p>
事務局	<p>教育委員会との連携は、今後しっかりと進めていきたいと思えます。また、市内には環境保全に関わっていただいている団体があり、地域や小学校において活動いただいています。そういった環境に関する活動をしていただいている団体がまだまだあると思います。そうい</p>



	<p>った団体と学校や地域とのマッチングについて、市が今後実施していかなければならないと思いました。</p>
<p>会 長</p>	<p>担当者など人が変わるとその施策がなくなってしまうなど、個人の力に頼りすぎているところがあるかもしれません。市としての方向性をきちんと打ち出していくことが、変わらずに継続していくことに必要なことだと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>情報については、学校区以外にも伝わるように広報していただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>学校だけでなく、地域の自治会を通して情報を発信していく方が良いのでは。</p>
<p>会 長</p>	<p>情報の発信方法については、新しい磐田市のやり方として、今後模索していくことが必要だと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>私自身、広報いわたについてはいつも読ませていただいています。広報誌には様々な情報が掲載されており、親がその気になって読めば情報を得ることができると思います。見てないほうが悪いのか、見るような状況を作らないほうが悪いのかわかりませんが、大変難しい課題だと思います。この環境基本計画についても早いうちから広報していくことが大切だと思います。全部でなくても市がこのようなことをしていますということをお知らせしていく必要があると思います。あとは、目標や目的がはっきりしていると分かりやすいです。「単純にこうしてください」では分かりにくいので、「磐田市はこうでありたいからこうしたい」、ということを確認にしていればすんなりと受け入れられると思います。</p> <p>些細なことですが、今までごみ袋に名前を書くことの必要性が分からずにいました。この間私のごみ当番の時に違うごみが混在しており、収集されなかったごみがありました。名前が書いてなかったので</p>

	<p>その方に気付いてもらえるまで3日間くらいそのままでした。ささやかな出来事でしたが、そんなことから名前を書く意味が分かり、これからはきちんと読める字で書こうと思うようになりました。目的が分かれば、色々なこともわかりやすいと思いますし広報の見方も変わってくると思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>「自分ごと」にして欲しい、ということですね。目的という意味では、この環境基本計画には目的が記載されていますが、それが見る人に伝わるかどうか。ではもっと分かりやすくするためには、例えばキャッチフレーズだとかそのようなものを持ってくるということでしょうか。</p>
<p>会 長</p>	<p>他にはよろしいでしょうか。本日もたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。いただいた御意見を、第2次環境基本計画へ反映していただくようお願いします。では、本日の議題に対する意見交換はここで終了といたします。</p>
	<p>(6) その他（今後の日程について事務局より連絡）</p>
	<p>(7) 閉会（環境課長）</p>